



上電友の会だより

「上毛電鉄友の会」の会報誌

第7号



(空っ風通信)

Joden Supporters Club

赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。

84年目を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。今年で発足して4年目、これからもみんなでサポートして上電を盛り上げよう!

挨拶 友の会第7号発刊にあたって

自然災害や群馬の近況を振り返っての友の会の活動

上毛電鉄友の会(以下本会)会報第7号が発刊されるに際して、会員の皆様や、上毛電気鉄道(以下上電)の社員の皆様、沿線の自治体や市民の皆様へ感謝いたします。

今年は、群馬県民にとって、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産に登録されたことが、嬉しい大ニュースでした。しかし、夏の猛暑が早めに終わって、すがすがしい秋を迎えるや否や、9月末に突然の御嶽山の噴火、そして10月に入って2週続きで日本列島全域が台風に見舞われました。幸いにも群馬県内の台風被害は比較的少なかったと思われませんが、新聞やテレビの報道を見るたびに、夏の集中豪雨以降の全国の蓄積被害は膨大になったことや、各鉄道会社にとっては、心配と苦勞が絶えなかったことが目に浮かびます。本会としては、何の援助等できませんでしたが、まだ復興途上の東日本大震災も含めて、全国の被災された方々などに対して、早期の復興と立ち直りをお祈り申し上げます。

毎年秋は、学校や地域で運動会はじめ、多くのイベントが企画されます。恒例の「上電秋のイベント」(10月26日)などにも、多くの方々のご来場をお待ちしています。また、本会自身でも、冬に向かって、鉄道に多少とも接点を持たせたハイキングやスタンプラリーを実施いたします(本会報に別稿に案内)。これらの行事を通して、私たち会員はもちろん、市民・県民の方々には、公共交通を見直し、少しでも御利用を増やしていただければ幸いです。(上毛電鉄友の会 代表 大島 登志彦)

秋 晩秋のバスハイキング(予告)

3度目となる当会企画によるバスハイキング。今年4月からの貸切バス運賃制度の変更めげずに、早目の予約で何とか乗り切りましたが、来年はどうなるやら。

一昨年の新潟、昨年の上田に続く3度目の廃線跡ウォーキングは、筑波鉄道を訪問します。自転車道の整備が進んでいおりますので、比較的歩きやすいコースのはず、秋の一日を筑波風に送られて元気に歩きましょう。

また、昨年のスタンプラリーで協働した流鉄流山線にも乗車します。また、10月26日の大胡駅イベントにも流鉄ブースが登場します。ちなみに流鉄は千葉県流山市から松戸市の馬橋駅に至る5.7kmのがんばる私鉄です。流山市は最近アド街にも登場しましたね。

- 実施日:平成26年11月29日(土) 大胡駅7:45集合
- 参加費用:3,500円(バス、資料、保険料等として)当日集金。自弁。流鉄乗車券等は各自お支払い下さい。

- 旅程案 ※都合により変更になる場合あり。
- 大胡駅 7:45 集合→(北関東道)→岩瀬駅
- (筑波鉄道廃線跡ウォーキング・一部区間)
- 流山駅 → (流山電鉄乗車) → 馬橋駅
- 大胡駅 19:00 頃 解散予定

(新保正夫)

ご参加お待ちしております!



会 平成26年度通常総会を開催

定期開催となっている友の会総会が、5月31日(土)17:00 から桐生市市民活動推進センター「ゆい」にて行われました。会員約20名が集まり、まず平成25年度活動報告及び決算、平成26年度活動計画及び予算の報告・承認を行いました。また、今年度より新たな役員加入もあり、それについての案件も承認されました。

さらに、友の会公式 facebook の運用を開始し、SNS を活用した情報発信も強化していくことが報告されました。

最後に上毛電鉄の古澤社長に祝辞をいただき、会員一同身を引き締めて今後も活動にあたらせよう決意しました。(小林直樹)

活 今後の活動スケジュール

2014年度		随時・中長期・年次企画
10/26 (sun)	感謝フェア 2014 イベントサポート	○随時 ・クリーンボランティア活動 ・沿線歩け大会のサポート ・会員募集 (チラシ配布、コミュニティFM等の活用) ・プロモCM作成
11/29 (sat)	第3回 友の会 バスハイキング バスで巡る 筑波鉄道廃線跡	
12月中旬 ~翌3月	友の会スタンプラリー実施	○中長期 ・上毛電鉄90年史 資料収集及び編集作業 ○年次 ・総会(毎年5月下旬) ○時期未定企画 ・平成26年度会員向けグッズ等送付
2015年 1/3 (tue)	新春イベント 2015 新春トークショー	
3月	上電友の会だより 冬号発行	

印 H26 友の会スタンプラリー(予告)

友の会スタンプラリーは、今年度で5回目となります。今年の企画は、「ぐんま三鉄」のコラボレーションです。富岡製糸工場群の世界遺産登録や7000形新車の導入で話題の上信電鉄。気動車トロッコに天皇皇后両陛下がご乗車した、わたらせ渓谷鐵道。我らが上毛電気鉄道の3線を、スタンプラリーで巡ります。

■ラリー実施期間

平成26年12月13日(土)から
平成27年3月15日(日)まで (新保正夫)

春 春のハイキング報告

5月31日、少し蒸し暑さを感じる朝 9:00 天王宿駅を起点に、江戸時代の富士山講の遺跡である富士山(ふじやま)がある桐生市相生町内を、地元のガイドさんに歴史解説をしていただきながら歩きました。富士山は、「富士山」が世界遺産登録された後、間違って外国人も訪れて有名になった富士山下駅最寄りの山です。(裏面へ続く)



(続き)日本に旧石器時代があることを証明した相澤忠洋氏の墓参りの後、桐生明治館(旧群馬衛生所)、相生の名の由来となる相生の松、大善寺、赤岩の渡しの船宿跡、念願の富士山登頂を果たしたあと岡登神社や天王院、忠霊塔を巡りました。富士山山頂からは、眼下を走る上毛電鉄の電車を眺め、下山後には登録有形文化財の渡良瀬川橋梁も見学できました。途中で雷雨に見舞われたり、猛暑となったもの見学先のお寺や施設でのおもてなしもあり、15:00 皆元気に天王宿駅にゴールしました。(佐羽宏之)

掃 樋越駅でクリーンボランティア

早くも夏の日差しが照り付けた6月1日、樋越駅にて第3回の上電駅クリーンボランティアを実施し、過去最多の17名の方にご参加いただきました。

休憩を取りながらのんびりやりましょうとお声掛けしましたが、皆さん一生懸命に取り組んでくださり、気が付けば、駅の裏側に生い茂っていた雑草が綺麗さっぱり刈り取られて、ポイ捨てされていたゴミが取り除かれ、待合室のテープ跡も目立たなくなりました。

私としては、皆さんがこの活動に参加して、上電のために私たちができていることをしているという思いを強くしてもらえれば、とても嬉しいですし、いつも乗っている、見慣れている上電のことを、ちょっと気に留めてもらえるだけでも、この活動を続ける意味があると思っています。活動の度に課題が見つかりますが、今後も無理なく継続していけるよう、工夫を凝らしながら、楽しく駅を綺麗にしていきたいと思えます。

この活動は、上電という、世界に一つしかない鉄道に対して、心からの愛着と誇りを持っている方々のご協力で成り立っています。私もまた、そんな上電が大好きな一人です。これからどうぞ、よろしく願ひ致します! ■第4回は、11月30日を予定 詳細は会HPで(楠山喬正)

賞 前橋がテーマの作品 受賞

県立前橋高校鉄道研究同好会は、毎年夏に東京ビックサイトで開催される全国高等学校鉄道模型コンテストに3年前から出品しています。初年度は技能賞。昨年度は参加賞。3年目の今年はなんと理事長特別賞(約120校中の十数位)を勝ち取ることができました。私たち自身も非常に驚くとともに、期限ぎりぎりまで製作を頑張った甲斐があったなとつくづく実感しました。また、今回のコンテストでの好成績が後押し、念願の部昇格への切符も渡され、来年には部として活動していけそうです。非常にうれしい限りです。

今回のモジュールのテーマは「前橋中心商店街再興」でした。商店街の利便性を向上させるために次世代型路面電車システム(LRT)を前橋駅から中央前橋駅まで導入し子供から老人まで利用しやすい商店街をイメージしながら製作にあたりました。

また、商店街への自動車乗り入れを禁止し自転車を活用したり、太陽光発電を積極的に導入するなど前橋の商店街がより活性化するための提言も込めました。このような前橋に対する愛が審査員の方に評価され、好成績を残すことができました。

模型作りを通して未来の前橋がもっと素晴らしい街になってほしいと強く感じました。(前高鉄研会長 樋口悟)

f Facebook 始めました!

上電友の会の活動を、全世界(おかげさ?)に発信してまいります。FBを通じて、友の会のレールがどこまでもつながっていくことを願っています。見ていただいた方は、どんどんシェアしてください。皆さんの「いいね」をお待ちしています。(太田聡彦)

ミニ情報(関連イベント)

きりゆう市民活動推進ネットワーク研修事業 12月14日(日)

「ひたちなか海浜鉄道」と、「ひたちなか市市民交流センター」視察
ジョウモウ大学 シャル鉄 11月16日(日)

～秋のぐんまを楽しむ鉄道のたび～ #シャル鉄

飲 ビール電車に SUPER BELL'Z

8月23日、今年も上毛電鉄友の会主催のデハ101ビール電車が、中央前橋～西桐生を二往復、賑やかに走りました。

今年が目玉は、かねてよりの(個人的)希望だったSUPER BELL'Z車掌DJ野月貴弘さんのご乗車!!夏休み期間の過密スケジュールを縫ってどうにかご参加いただけました。



野月さんは中央前橋駅から乗車、直後からテンションも高く、早速の車内放送です。(写真)リズミカルな喋りと、たくさんのお酒、そしてデハ101の心地よい揺れと走行音に車内は盛り上がりまします。皆さん野月さんとお話したり、車窓からの風と景色をお酒と共に味わったりと、思い思いに過ごしていると、あっという間に西桐生駅へ。西桐生駅では、上毛電鉄さんのご厚意により臨時のSUPER BELL'Z「車外物販」も行われました。この日のみの限定アイテムやCDなど、皆さんお手に取っていただき、誠にありがとうございました!復路は、恒例になりつつある?東武鉄道との電車レース!(一方的に)今年は、東武鉄道8000系との熾烈な戦いが繰り広げられました。

そんなレースですが…なんと今年は、初!野月さんの一人二役生実況解説つきという、なんとも豪華なレースとなったのです。これには車内も大盛り上がり、F1風?解説も入り交じった実況に、皆さん大ウケしてらっしゃいました。



また、二往復目の中央前橋駅では、初お披露目となる「赤城いずみちゃん」「上毛といちくん」立体パネルも同乗。(写真)かわいらしいパネルと共に、夕暮れの中をデハ101は走ります。柔らかな白熱灯がともった車内は、とても温かい雰囲気。皆さんが持ち寄ってくださったお酒やおつまみが所狭しと並ぶ車内は、ビール電車ならではのです。

野月さんも、上毛電鉄の車掌さんや運転手さんも交えて、参加者の皆さんと鉄道トークに花を咲かせていました。

そんな当日のようすを、ほんの少しですがこちらにてお聴きいただけます。……→「鉄音アワー」

(<http://airplug.cocolog-nifty.com/bellz/2014/09/472-101-5a85.html>)

今年ご乗車いただけなかった会員の皆さんも、来年はぜひ一緒にできるのを楽しみにしております!(堀込聖美)



編集後記

上半期のトピックスといえば、やはりビール電車への野月さん同乗でしょうか。ブラウン管越し(いまだきは「液晶越し」か)でしか拝見していなかった方と、同じ列車にゆられることになるとは。友の会の皆さんの人脈の広さとつながりの深さに感服です。

つながりといえば、上電とJR前橋駅を模型の世界でつないだ前高鉄研さん。受賞おめでとうございます。私も前橋に働く一人として、皆さんの心意気が嬉しいです。写真は、この紙面でシェアさせていただきました。……どうにも私はアナログ人間ですね。(太田聡彦)

発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/>

<https://ja-jp.facebook.com/jyodentomonokai>

E-mail supporters@jomorailway.com